

**令和4年度「重層的支援体制構築推進人材養成研修」 <応用編>
①座学**

2022年11月1日（火） 13:30～17:00

本日の内容

到達 目標

- ✓ 本研修の全体像と、研修の活かし方を理解する。
- ✓ 多様な主体による地域活動を展開していく上で、求められる意識・考え方・行動を知る。
- ✓ 次回までの実践演習の趣旨と進め方を理解する。

時刻	形態 (時間)	内容
13:30	(1分)	• 開会
13:31	講義 (14分)	• オリエンテーション（研修全体について） • 地域共生に資する地域活動やプラットフォームの構築について • アイスブレイク
13:45	講義 (35分)	• 事例報告
14:20	(10分)	• 休憩
14:30	(120分)	• トークセッション・質疑
		※オブザーバーの傍聴は、トークセッション終了時までとなります
16:30	ワーク (20分)	• グループワーク
16:50	演習ガイド (10分)	• 実践演習ガイダンス
17:00	—	• 研修終了後、市町村間のネットワーキングを実施

1

1. 本研修（応用編）の全体像
2. 本日の研修内容
3. 事例報告・トークセッション
4. グループワーク
5. 実践演習ガイダンス
6. 次回に向けた連絡事項

1. 本研修（応用編）の全体像

— 到達目標

- 重層事業が開始され、福祉関係部署や専門機関との相談・連携体制の整備が行われてきたが、市町村や支援機関からは、地域共生に資する地域の活動の展開についてどのように取り組めばよいのかわからないという声が聞かれる。
- そこで、応用編研修では、座学におけるポイントの解説、わがまちで取り組む実践課題、フォローアップでのアドバイザーとの個別の意見交換を通して、地域活動を展開していくためのポイントや求められる意識や行動について理解し、それぞれの立場から今後取り組みたいことやネクストアクションにつながるヒントを得ることを目指す。

最終的な 到達目標

- ✓ 地域活動を展開していくための取組のポイントや、求められる意識や行動について、具体的なイメージを持てるようになる。
- ✓ 研修終了後にわがまちで取り組みたいことやネクストアクションが見出せる。

3. 事例報告・トークセッション 研修の流れ

座学
本日

オンライン

- ✓ 事例やトークセッションを基に地域活動を展開していくためのポイントを学ぶ
 - ✓ 実践事例の共有
 - ✓ 実践者・有識者によるトークセッション



- ✓ グループワークで事例報告・トークセッションの気づきや学びを整理する

実践演習

11-12月

個人ワーク

- ✓ 地域への想いを持って活動する個人のもとへ足を運び、想いを聞き、ネクストアクションを検討する



フォローアップ

1月

オンライン

- ✓ 実践演習で取り組んだ内容をグループで共有・意見交換し、講師や他の参加者と意見交換を行う
- ✓ 今後のアクションを検討する



1. 本研修（応用編）の全体像

ー研修の心構え

- 本研修は、参加者が今後の取組やアクションにつながるヒントを得ることを目指した実践型のプログラムとなっています。
- 学んで終わりにするのではなく、実践を通して今後のアクションを見出せるよう活用ください。

2

1. 本研修（応用編）の全体像
2. 本日の研修内容
3. 事例報告・トークセッション
4. グループワーク
5. 実践演習ガイダンス
6. 次回に向けた連絡事項

2. 本日の研修内容

到達 目標

- ✓ 本研修の全体像と、研修の活かし方を理解する。
- ✓ 多様な主体による地域活動を展開していく上で、求められる意識・考え方・行動を知る。
- ✓ 次回までの実践演習の趣旨と進め方を理解する。

時刻	形態 (時間)	内容
13:30	(1分)	• 開会
13:31	講義 (14分)	• オリエンテーション（研修全体について） • 地域共生に資する地域活動やプラットフォームの構築について • アイスブレイク
13:45	講義 (35分)	• 事例報告
14:20	(10分)	• 休憩
14:30	(120分)	• トークセッション・質疑
		※オブザーバーの傍聴は、トークセッション終了時までとなります
16:30	ワーク (20分)	• グループワーク
16:50	演習ガイド (10分)	• 実践演習ガイダンス
17:00	—	• 研修終了後、市町村間のネットワーキングを実施

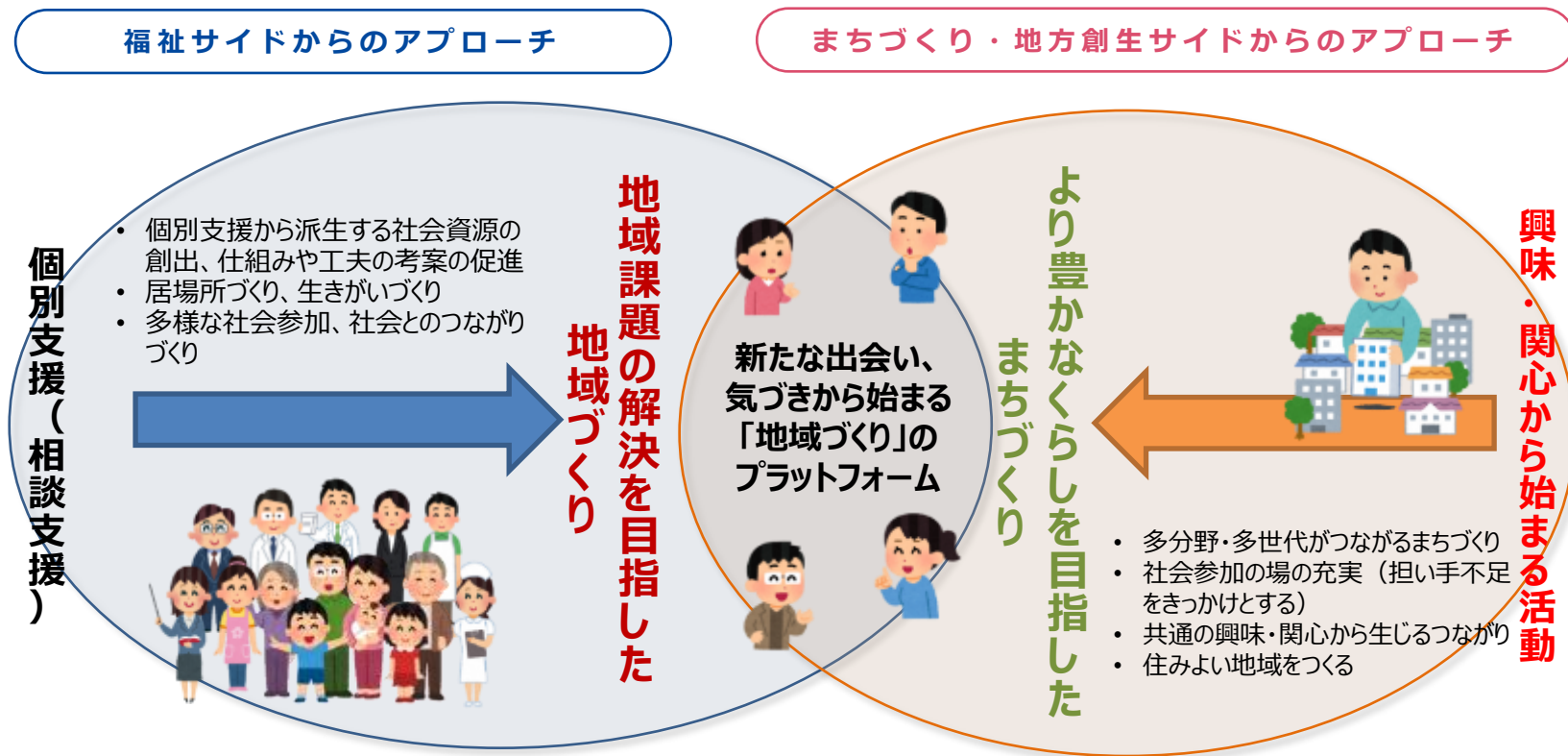
地域共生社会とは

地域住民や地域の多様な主体が、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会



多様な主体による地域活動の展開における出会い・学びのプラットフォーム

地域づくり・出会いのプラットフォームの視点



2. アイスブレイク

**「昨日の晩ご飯」について
1人ずつグループ内で共有してください。**

(1グループ3人程度・1人1-2分程度)

所在地が北⇒南の順番で1人ずつ共有してください。

<参加者の方>

→ 端末ごとに割りてられているブレイクアウトルームに移動してください。(複数人で同じ端末から参加している場合は、複数人で参加ください。)

<オブザーバーの方>

→ そのまま待機ください。

3

1. 本研修（応用編）の全体像
2. 本日の研修内容
3. 事例報告・トークセッション
4. グループワーク
5. 実践演習ガイダンス
6. 次回に向けた連絡事項

3. 事例報告・トークセッション 研修の流れ

座学
本日

事例報告・
トークセッション

- ✓ 事例やトークセッションを基に地域活動を展開していくためのポイントを学ぶ

<事例報告・トークセッションの目的>

地域活動の展開について、**実践事例の目に見える成果や取組の形ではなく、そこに至ったプロセスや要因に着目し、求められる意識・考え方・行動を学ぶ**

グループワーク

- ✓ 事例報告・トークセッションの気づきや学びを整理し、以下についてグループで共有
 - ✓ 事例報告及びトークセッションで気づいたこと・印象に残ったこと
 - ✓ 実践演習のプラン（したいこと、実践目標など）

実践演習
11-12月

- ✓ 地域への想いを持って活動する個人のもとへ足を運び、想いを聞き、ネクストアクションを検討する

フォローアップ
1月

- ✓ 実践レポートの内容をグループで共有・意見交換し、今後のアクションを検討する

3. 事例報告・トークセッション 研修の流れ

〈事例報告・トークセッションの目的〉

地域活動の展開について、**実践事例の目に見える成果や取組の形ではなく、そこに至ったプロセスや要因に着目し、求められる意識・考え方・行動を学ぶ**

(ポイント例)

- ✓ 事業の枠組みに囚われない自由な発想
- ✓ 地域力や可能性を活かす発想
- ✓ 立場の鎧を脱いだコミュニケーション
- ✓ 個人・団体の想いや活動に関心を持ち、つながり、ストックを持つ
- ✓ 時機を捉えて想いや活動をつなげ、カタチにする
- ✓ 地域や関係者を惹きつける仕立てや仕掛け（相手の興味や関心を重視した仕掛け方など）
- ✓ 発想と連想の違い、活動と労働の違い
- ✓ 大切なことは先進的取組そのものの真似ではなく、わがまちでの実践の積み重ね

本日のスピーカー

室田 信一 (むろた しんいち) 東京都立大学人文社会学部 准教授

上原 敬子 (うえはら けいこ) 久留米市役所 地域福祉課 主査

大原 裕介 (おおはら ゆうすけ) 社会福祉法人ゆうゆう 理事長

西上 ありさ (にしがみ ありさ) studio-L TOKYO

松崎 亮 (まつざき あきら) 三股町社会福祉協議会 コミュニティデザインラボ 所長

3. 事例報告・トークセッション用Memo

- 事例報告及びトークセッションで気づいたこと・印象に残ったこと

4

1. 本研修（応用編）の全体像
2. 本日の研修内容
3. 事例報告・トークセッション
4. グループワーク
5. 実践演習ガイダンス
6. 次回に向けた連絡事項

4. グループワーク ー進め方

16:30～16:50（20分）

3～4人のグループに分かれ、以下について共有します
所在地が南⇒北の順番で1人ずつ共有してください。

<グループワークでのトークテーマ>

- 事例報告及びトークセッションで気づいたこと・印象に残ったこと
- 実践演習のプラン（したいこと、実践目標など）

※端末ごとに割り当てられているブレイクアウトルームに移動してください。（複数人で同じ端末から参加している場合は、複数人で参加ください。）

4. グループワーク用Memo

5

1. 本研修（応用編）の全体像
2. 本日の研修内容
3. 事例報告・トークセッション
4. グループワーク
5. 実践演習ガイダンス
6. 次回に向けた連絡事項

5. 実践演習ガイダンス ー 取り組むこと

概要

- ✓ 本日の学び・気づきを踏まえ、地域で活動する個人・団体のもとに足を運び、話を聞く。
- ✓ 聞いた内容を踏まえて今後のアクションを検討する。
- ✓ 実施内容をレポートにまとめ、フォローアップ研修（1/17にオンラインで実施）にて講師や他参加者へ共有を行い、ネクストアクションの検討を深める。

<実施内容>

- ① **地域への想いを持って活動する個人・団体を探す**
- ② **地域で活動する個人・団体のもとに足を運び、想いを聞く（雑談orインタビュー）**
- ③ **実践レポートを作成（様式自由）**

以下の内容について報告ください。

- ✓ 話を聞いた対象とその理由
- ✓ 聞いた内容と、発見・気づき
- ✓ 今後のアクションとして検討したいこと
- ✓ フォローアップで相談したいこと、モヤモヤ

※ 実践レポートは提出いただき、フォローアップ研修（1月）で、グループでの共有・ディスカッションを行います。

6

1. 本研修（応用編）の全体像
2. 本日の研修内容
3. 事例報告・トークセッション
4. グループワーク
5. 実践演習ガイダンス
6. 次回に向けた連絡事項

次回に向けた連絡事項

- フォローアップ研修
1月17日（火） 13:30～17:00頃まで（予定）
オンライン（Zoom）
- 実践演習ワークシート提出
〆切：1月6日（金） 正午
※ 提出様式、提出方法は別途ご案内いたします。
※ 提出いただいた内容を確認し、再提出をお願いする可能性もあります。
- 本日の受講後アンケート回答のお願い
回答URL： <https://questant.jp/q/CZWFQSVF>

